学校番号	3024

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ２年文	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「現代文Ｂ　改訂版　上巻」（大修館書店）						
副教材等	「新国語便覧」（大修館書店） 「現代文長文記述問題集２　読解力養成編」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年生の評論は、一年次と同様に様々なジャンルの文章を読んでいきます。一年次で培った、要旨を正確に捉える力を用いて文章を読み取り、思考の幅を広げていきましょう。また、多くの高度な文章に触れることを通して、現在の日本の状況・課題も学び、今後の課題解決方法を思考する力を養うことも目指します。
・小説は近代以降の作品を読んでいきます。表現や文体に触れ、主題を掴み、ものの見方や感じ方を豊かにしていきましょう。
・授業の予習では言葉の意味調べはもちろん、本文を前もって読み、理解できなかったところを真剣に思考しておいて下さい。読解力や思考力の向上は、家庭学習にかかっています。

2　学習の到達目標

・思考を理解し、意見を表現する力を積極的に高めることで、言語文化への自己の理解を深める。
・他者の思考を的確に理解しながら聞き取り、それに対して自分の意見を明確に伝え、自己の考えを深める。
・相手や目的に応じた文章を的確に書いたり、深めた自己の意見を、論理的に書いたりできるようになる。
・文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を広げる。
・語彙・漢字・伝統的言語文化についての理解を深め、必要な知識を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	思考を理解し、意見を表現する力を積極的に高めることで、言語文化への自己の理解を深めようとしている。	他者の思考を的確に理解しながら聞き取り、それに対して自分の意見を明確に伝え、自己の考えを深めている。	相手や目的に応じた文章を的確に書いたり、深めた自己の意見を、論理的に書いたりしている。	文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を発展させている。	語彙・漢字・伝統的言語文化についての理解を深め、必要な知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論編	教材: 「対話の精神」	○	◎			○	a:筆者が「対話」についてどのように捉えているのかを読み取ろうとしている。 b:「わかりあう文化」について他者の意見を、尊重しつつ、積極的に自分の考えを述べている。 e: 筆者の述べる「対話」「会話」「対論」の違いを正確に理解している。	a、b: 行動の観察 e: 記述の確認及び定期考査
		教材: 「ミロのヴィーナス」	○		◎		○	a:筆者の考える芸術のあり方を読み取ろうとしている。 c:筆者の着眼点や発想を理解した上で、自己の考えを論理的に文章にまとめている。 e:対比・逆説・比喩などの表現の持つ効果についての理解を深めている。	a: 行動の観察 c: 記述の確認 e: 記述の確認及び定期考査
	文学編	教材: 「山月記」	○			◎	○	a:虎になった李徴の悲劇がどのような点にあるかを考えようとしている。 d:漢文調の文体に注目しながら文章を読み、登場人物の心情を的確に読み取り、「人間性」について考えられている。 e:この小説における「変身」の意味や位置づけについて理解している。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認及び定期考査
	評論編	教材: 「ホンモノのおカネの作り方」	○			◎	○	a:視野を広げ、思考しながら文章を読もうとしている。 d: 本文中の例が、筆者のどのような考えの例なのか理解している。 e:「逆説」「形而上学」等の評論的語句について知識がある。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認及び定期考査
	記述演習Ⅰ	教材: 演習問題　1～4，13，15～16	○		◎		○	a:本文の指示語や抽象的な言葉を、分かり易く言い換えようとしている。 c:主張や心情を的確に読み取って記述し、自己の見解を深めている。 e:指示語や抽象的な言葉の言い換え方についての理解を深めている。	a、e: 行動の観察 c: 記述の確認

2学期	文学編	教材: 「こころ」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを表現に即して読解しようとしている。 d:登場人物の性格、行動について的確に読み取り、人間の利己的な心のありようについて考えを深めている。 e:作者について理解し、日本の近代文学史の流れについて理解している。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認 及び定期考査
	評論編	教材: 「からだで味わう動物と情報を味わう人間」	○		◎		○	a: 文章の論理的な展開をたどりながら意欲的に読み進めようとしている。 c: 動物と人間の違いについて、筆者の考えを把握している。 e: 評論文中のカタカナ語を理解している。	a: 行動の観察 c: 記述の確認 e:記述の確認及び定期考査
	評論編	教材: 「生命情報・社会情報・機械情報」	○	◎			○	a:「情報社会」に対し、自分なりの引きつけ方で考えようとしている。 b: 本文中の語句や表現に着目して身のまわりを見直し、考えをわかりやすく話している。 e: 語句の意味を正しく理解している。	a,b: 行動の観察 e: 記述の確認 及び定期考査
		教材: 「敬語への自覚、他者への自覚」	○			◎	○	a: 日本語に興味をもち、日本語への認識をいっそう深めようとしている。 d:本文の構成に注目し、筆者の主張を的確に読み取れている。 e: 筆者が術語として用いている日常語について知識がある。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認 及び定期考査
	詩歌	教材: 「俳句十五句」	○			◎	○	a:俳句独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につけようとしている。 d:情景や心情、表現方法を読み取り、発想力や想像力が豊かになっている。 e: 季語・切れ字・取り合わせなど俳句についての基礎的な知識を理解している。	a,d: 行動の観察 e: 記述の確認 及び定期考査
	記述演習Ⅱ	教材: 演習問題 5～10, 14, 17～18	○		◎		○	a:筆者の主張や登場人物の心情の変化を読み取ろうとしている。 c:主張や心情を的確に読み取って記述し、自己の見解を深めている。 e:筆者の主張や心情の変化の読み取り方の理解を深めている。	a、e: 行動の観察 c: 記述の確認

3学期	評論編	教材: 「分かち合う社会」	○			◎	○	a: 人間社会の普遍性、あり方について考えようとしている。 d: 人間の「分け与える食習慣」についての、筆者の主張を理解している。 e:「イデオロギー」「コンテキスト」などの語についての知識がある。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認及び定期考査
		教材: 「多数決を疑う」	○			◎	○	a: 政治、思想に興味をもち、筆者のものの見方、考え方を読み取ろうとしている。 d: 筆者の主張する、多数決の「問題点」とその代替案について、内容を理解している。 e: 政治、思想に関するキーワードについて、概略を理解している。	a: 行動の観察 d,e: 記述の確認及び定期考査
	記述演習Ⅲ	教材: 演習問題　11～12, 19～20	○		◎		○	a:随筆における筆者の主張や心情を読み取ろうとしている。 c:要素を的確に読み取って記述し、自己の見解を深めている。 e: 随筆における筆者の主張や心情の読み取り方を理解している。	a、e: 行動の観察 c: 記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については全ての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話す・聞く能力」・「書く能力」・「読む能力」）に関わる観点には◎を付けている。